

# 質的記述的研究の進め方

1

日本在宅看護学会  
10/28/2022

名桜大学大学院  
看護キャリア開発学専攻  
グレッグ美鈴

## 今日の内容

1. 質的記述的研究とは何か
2. 質的記述的研究のプロセス
3. 質的（記述的）研究の注意点：分析に焦点を当てて

## 在宅看護の領域で、質的記述的研究法はどのくらい使われているか？

- ▶ 医学中央雑誌Web版：2012年～2022年，原著
  - 在宅看護／訪問看護＋質的記述的研究＝22件  
(日本在宅看護学会誌：1件)
  - クリティカルケア看護／急性期看護＋質的記述的研究＝10件
  - 在宅看護／訪問看護＋事例研究＝21件

## 質的記述的研究とは何か

- 他の質的研究と同様に，その経験をしている人の視点から現実を明らかにすることを目的とする。
- 最も複雑でない研究方法である：現象学，GTなどと比較して。
- 日常的な言葉で記述する（Sandelowski, 2000）  
= 初歩的な段階の研究。

## 質的記述的研究の問いの例

- ➡ ある出来事に対する人々の反応はどのようなものか？
- ➡ ある出来事に対する人々の関心は何か？
- ➡ あるサービスや手順を使ったり，使わなかったりする理由は何か？
- ➡ あるサービスを使っているのは誰で，どのようなときに使われるか？

## 質的記述的研究の問い（出版論文から）

- ▶ 在宅死を望む独居高齢者に，訪問看護師はどのような支援を行っているか？
- ▶ 在宅看取りをした家族へのグリーフケアを行った訪問看護師の心理状況とはどのようなものか？
- ▶ 医療ニーズの高い小児に対する訪問看護師の在宅ケア実践で，どのような困難をかかえているか？

## 質的記述的研究のプロセス (他の研究と同じ)

- ➡ (実践からの) 疑問⇒文献検討
- 自分の問いのどこまでが解かれていて、どこからが解かれていないのか。
- ➡ 問いの設定：何らかの経験を記述する⇒質的記述的研究
- ➡ 研究計画書の作成⇒倫理審査

# 1. データ産出（収集）

- ▶ インタビュー：半構造化インタビューが多い。
  - 質問を決めている（インタビューガイドを作成）が、研究参加者の応答をふまえて、自由に尋ねることができる。
  - 研究参加者の視点（イーミックemicな見方）が現れるように話を聴く。
  - 許可を得て、録音をする。

## 2. データ分析

- データ産出とデータ分析は並行して行う。
  - 分析の過程での気づきを次のインタビューで確認することで、リッチなデータとなる。
- データに没頭する。
  - 逐語録を何度も繰り返して読む。
- データ分析の過程での気づきをメモする。

## 2-1. コード化

- 生のデータにコードをつけることで、データの小さい部分を概念化する。
- コード化の単位：ライン毎，文章，パラグラフ，全体の文書，出来事毎
- 可能な限り研究参加者の言葉を使う。
- コードのみで意味が通じる必要がある。 = 情報の独立性

## 例に用いる研究の概要

- ➡ 目的：病院に就職して1年目の新卒看護師が臨床でどのように学び方を獲得しているのかを明らかにする。
- ➡ 方法：研究参加者は、新卒看護師として病院に就職した1年目の学び方の獲得に関わる経験を語ることができた臨床経験2年目の看護師11名。データ産出には、半構造化インタビューを用い、質的記述的分析を行った。

## コード化の例：切片化

Q：病棟で働いている中ではどうですか。

A：働いてる中で。働いてる中でだと、先輩ナースがどうやって患者さんと関わってるかとかを見ることで学んでいると思います。

Q：具体的に思い出す場面はありますか。

A：認知症の患者さんがいて、で、その患者さんの顔を拭くとき、先輩が顔拭いてたんですけど、すごく良い笑顔でね、拭いておられたんですよ。それはすごく覚えてて、いい表情だなあと思って。患者さんもすごく笑っておられて。こんなふうに患者さんと関わりたいと思いました。

先輩ナースがどうやって患者さんと関わっているかを見ることで学んでいると思う10-23

（先輩ナースの患者さんとのかわりで学びになった場面は）先輩が認知症の患者さんの顔を拭くときに、すごく良い笑顔で拭いておられたことをすごく覚えている10-24

（先輩が認知症の患者さんの顔を笑顔で拭いておられたとき）患者さんもすごく笑っていて、こんなふうに患者さんと関わりたいと思った10-25

## 2-2. カテゴリ化

- ➡ コードを相違点, 共通点について比較し分類する。
- ➡ 複数のコードが集まったものにふさわしい名前をつける  
= 抽象度を上げる。

# カテゴリ化の例：その1

コード	サブカテゴリ
先輩からその日に受け持ってわからないことを1つ1つやっていくしかないと言われた8-9	先輩看護師から実践に必要な学び方を学ぶ
先輩から教科書上の学びだけではなく、患者さんに当てはめて学ぶとわかりやすくなるとアドバイスをもらった3-7	
、 、 、 、 、 。	
1年目は与えられた課題をまずこなす1-18	与えられた課題をこなす
勉強しないといけないと自分で思えるまでは、やらされていると思ってでも課題をこなす必要がある5-85	
、 、 、 、 、 。	

## カテゴリ化の例：その2

サブカテゴリ	カテゴリ
先輩看護師から実践に必要な学び方を学ぶ	先輩看護師に従って学ぶ
与えられた課題をこなす	
行動調整を通して学ぶことに気づく	学ぶべきことに気づく
先輩看護師の実践への質問・助言から気づきを得る	
先輩看護師の看護実践が学びを刺激する	先輩看護師の看護実践が学びを刺激する

## 2-3. カテゴリ化の注意点

- ▶ 分析に慣れるまでは、2回のカテゴリライズで、カテゴリまで抽出すると考えない方が良い。
- ▶ カテゴリライズ1回目, 2回目, 3回目、、、と繰り返す。
- ▶ これ以上, 抽象度を上げると当たり前過ぎる表現になると思う1歩手前がカテゴリ, その下がサブカテゴリとなる。

## カテゴリ化の例：その3

コード	カテゴリライズ 1回目	カテゴリライズ 2回目	カテゴリライズ 3回目
AAAAA	JJJJJ	NNNNN	PPPPP
BBBBB			
CCCCC			
DDDDD	KKKKK		
EEEEE			
FFFFFF	LLLLL	OOOOO	
GGGGG			
HHHHH	MMMMM		
IIIII			

何回繰り返しても  
良い

## 2-4. 結果の表し方：図式化

- ▶ プロセス性のあるもの = 時間の流れとともに結果が表せるものは、図にするとわかりやすい。
- Glaserの理論的コードのコーディング・ファミリーを使う。
- 6つのC：原因，文脈，関連条件，帰結，共に変化，条件
- ▶ カテゴリを使った物語 = ストーリーテリング  
⇒これが研究目的に答えていることが重要

## カテゴリ間の関連の検討：例

- 新卒看護師は，【自分なりの学び方がわかる】ことに帰結する必要がある。その条件となっているものは何だろう？ 【学びが看護に活かしている実感を持つ】ことである。それはどのようにして可能になるか。【さまざまな資源を活用して学ぶ】ことが必要になる。それには何が必要だろうか、、と考えていく。
- これらは双方向の影響か、それとも一方向の影響かを考える。



## 2-5. 分析結果の厳密性の検討

- ▶ 研究参加者の何名かに分析結果を見てもらう =  
メンバーチェック
- ▶ 質問の仕方
  - × : 「この分析結果は、あなたの経験を示していますか？」
  - : 「この分析結果は、あなたの経験やあなたの周りの人の経験を加味して考えたときに、納得できますか？」

### 3. 学会抄録／論文の作成

- ▶ 示した結果のもつ意味について述べる。＝結果の解釈＝考察
- ▶ 再度文献検討を行う。データ産出（分析）中は文献を読まない。
- 先行文献の言葉を借りず，研究参加者の語りに集中する。

質的（記述的）研究の注意点：  
分析に焦点を当てて



## 1. 分析中，一気に抽象度を上げないこと

「入学してから学んだことは理論ばかりで，実際に役に立つのか疑問に思うことがあるんですよね。」

×コード：カリキュラムに対する不満

○コード：理論の学習ばかりで，実際に役に立つか疑問に思うことがある

⇒研究参加者の使った言葉で要約する。

## 2. 研究者の解釈を入れないこと

× : ○○と言っているのだから, △△なんだろう。

⇒分析に自分の考えや想像を持ち込まない。

サブカテゴリ	コード
<p data-bbox="310 308 805 458">多くの知識・技術の習得</p> <p data-bbox="359 472 861 822">見たのだから習得したのだろう</p> <p data-bbox="384 843 861 1193">様々な経験による学びの広がり</p>	ローテーションがない病院より多くの検査、処置、技術の見学をしたと思う1-21
	外来で今まで見たこともない検査を見学した3-6
	ローテーションでいろいろな経験ができる8-7
	検査や手術など見学できて、ローテーション研修のメリットはすごく大きい6-15
	ローテーションで振り返りや新たな発見をして看護技術自体も勉強できた11-43
	手術室を見たりすごく良い経験になった7-36

### 3. インタビューをしなくてもわかるようなカテゴリ名になっていないか考えること

- ▶ 精神障がいの当事者の人から話を聞いて、学生が学んだこと
  - ×：疾患の理解 = 教科書でも学べる。それを体験している人が語ることで、何を学んだのか？に焦点を当てる。
- ▶ ICUの看護師さんが危機を感じたときの対処方法
  - ×：危機管理 = それをどうしているかを表現する。

## 4. 最終的なカテゴリの抽象度の判断と 目的達成の確認

- カテゴリを使ってストーリーを作ってみる。  
= カテゴリを並べて作ったストーリーで、研究の  
問いに答えることが出来ればOK。

## どんな研究を行うにしても大切なことは

- ➡ 研究しようとしている現象について、よくわかっていること（看護師として）。
- ➡ 知っていることを横に置いて、研究参加者から学ぶ。
- ➡ 良いインタビューを行う。
- ➡ 方法論を学ぶ。最初は経験者と一緒に実施すると良いかも。
- ➡ 優れた質的研究論文をたくさん読む。
- ➡ 同僚と助け合う。質問してもらったり、意見をもらったり。
- ➡ 一生懸命やれば、研究は必ず楽しくなる。

ご清聴，ありがとうございました。



## 文献

- Glaser, B. G. (1978 ). Theoretical Sensitivity: Advances in the Methodology of Grounded Theory, Sociology Press.
- グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 (2016) . よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 第2版, 医歯薬出版.
- グレッグ美鈴, 脇坂豊美, 林千冬 (2017) . 新卒看護師の臨床における学びの獲得に関わる経験, 日本看護学教育学会誌, 27 (1) , 39-51.
- Sandelowski, M. (2000) . Focus on research methods, Whatever happened to qualitative description?. Research in Nursing & Health, 23(4), 334-340.